



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2004.4月号

第5回博物館まつり開催中！！

— 4月11日（日）まで —

博物館では様々な分野で年間会員制の行事を数多く行っています。その中からは自主グループも生まれています。こうした博物館のサークルが、一堂に会して、一年間の活動の様子やその成果を発表するのが、博物館まつりです。

今回は11団体が参加し、期間中の展示のほか、3月27日には8グループによる発表会が行われました。ここでは、展示内容の一部を紹介しましょう。実演もまだ残っていますので、是非ご覧ください。



民俗探訪会展示～秋葉山の火祭り再現



博物館まつり展示会場

～参加グループと展示内容～

グループ・サークル名	展示内容
裏打ちの会	裏打ちの工程・和紙の産地分布
古代遺跡を探す会	古代の東海道・火おこし実験
相模川の生い立ちを探る会＋地質調査会	富士山の成り立ち・地質調査会の活動
石仏を調べる会	庚申塔の中のお猿さん
展示解説ボランティアの会	昨年度の活動の紹介
天体観察会	天体観察会平成15年度の活動
馬入水辺の楽校生きもの調べの会	1年間の活動の紹介
平塚の空襲と戦災を記録する会	資料は語る—大野町戦災資料より・学徒勤労動員
漂着物を拾う会	打ち上げられた植物や海草
民俗探訪会	秋葉山の火祭りについて
(50音順)	

金星が太陽面を通る

4月10日～6月6日

いま、夕焼けの空には、宵の明星となっている金星が美しく明るく輝いています。金星はこれからじょじょに太陽に近づくため、見える位置はだんだん地平線に接近して行き、やがて夕方の空からは姿を消して、明けの明星に変わります。その境となる6月8日、金星はちょうど太陽の手前を通り、太陽の表面に黒く丸い姿が見える「金星太陽面経過」という非常に珍しい現象を起こします。4月10日～6月6日のプラネタリウムでは、122年ぶりとなるこの現象を紹介します。

■ 122年ぶりの現象

金星は、およそ1年半ごとに太陽と地球の間を通ります。しかしその経路は通常は南北にはずれて、重なることはめったにありません。最近にこれが起きたのは1882年、日本で見られるのは1874年以来となります。世界中で、130年間に2回しか起きない現象なのです。頻度としては、火星大接近や皆既日食より珍しいと言えるでしょう。1874年（明治7年）には遠く海外からアメリカ、メキシコ、フランスの観測隊が開国まもない日本を訪れ、横浜、神戸、長崎で観測を行なったほどで、各地に記念する石碑が建てられています。

■ 金星の経路

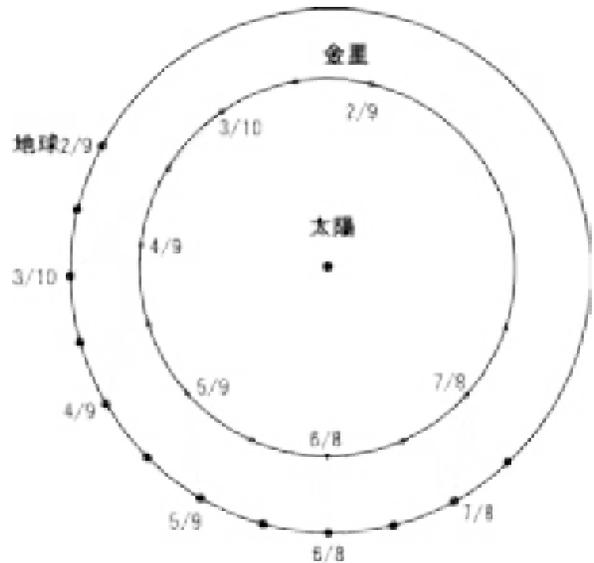
金星は地球の内側を回る惑星です。地球より短い周期で周回しています。右上の図のように、これから金星は内側で地球を追い抜くような動きをします。4月以降、夕方の空で金星の位置がだんだん低くなりますが、これは地球から見たときの金星と太陽の位置がだんだん近くなるからです（右中図）。

6月8日、平塚では午後2時11分ころから、太陽の手前に金星の黒く丸い姿が現われます。そしてゆっくりと太陽面上を移動し、そのまま日没となります（右下図）。

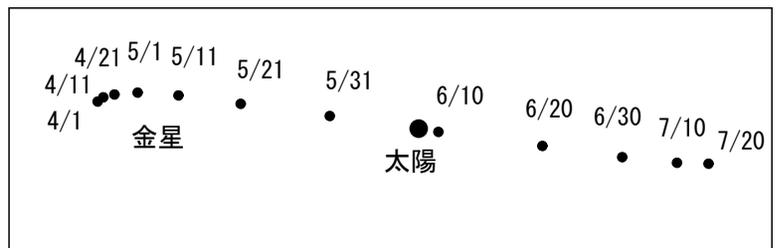
■ どんなふうに見えるのか

この現象の観察は、太陽を観察するのと同じですから、危険を伴います。太陽の強烈な光で目を傷めるおそれがあるからです。望遠鏡店では、太陽観察専用のフィルターを売っています。代用品としては真っ黒に現像した白黒フィルムがしばしば使われます。ふつうのサングラスや、写真用の黒いフィルター、黒い下敷きなどは、まぶしさを抑えても危険ですから使用しないで下さい。太陽観察の方法には、その他にピンホール（小さな穴）を使い太陽像をスクリーンに映す方法がよく用いられます。しかし今回の現象では、金星の大きさは肉眼で識別できるかどうか、理論的にもぎりぎり、はたして望遠鏡を使わずに見えるのか、わかりません。間違いなく誰もが初めて経験する現象ですし、人類の歴史上でも、まだ4～5回しか観測されていない現象なのです。

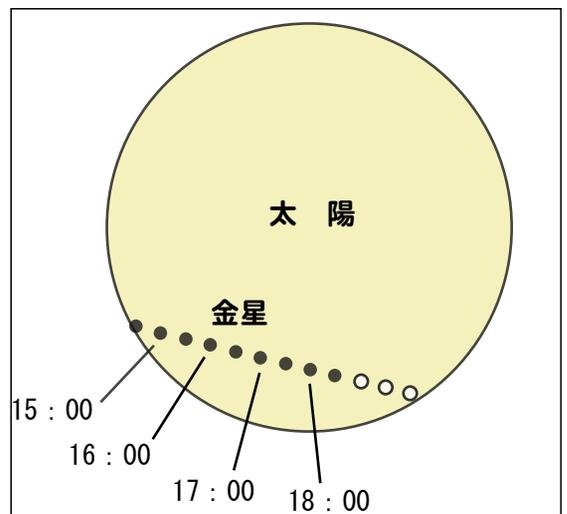
望遠鏡で観察するときは、白い紙などに太陽像を投影して観察すると安全です（間違ってもファインダーを覗いたりしないように！）。博物館では当日、望遠鏡で観察する「星を見る会」を日中に行なう予定です。



金星・地球の位置



地球から見た金星と太陽の位置（地球軌道面を水平にして描いています）



6月8日の太陽と金星（右が西・白抜き丸は日没後）

2.3 階の情報展示が新しくなります

2 階情報コーナーに置かれているパソコンを使った情報展示が新しくなります。
あわせて 3 階の「星のひろば」の展示に組み込まれているパソコン展示の一部も変わります。
平塚や相模川流域の地域情報の充実に加えて、いままで行なわれた特別展、出版物も見ることができるようになります。

●平塚市博物館情報展示 (2 階)

・湘南の動植物

平塚の水辺 / 野鳥の観察 / カエルと淡水魚
鳴く虫・はねる虫 / 湘南のシダ / 湘南の種子植物

・相模川流域の地質と岩石

流域の岩石 / 流域の地質

・地図から見る平塚の自然と文化

平塚の遺跡 / 平塚の自然散歩 / 平塚の道祖神
平塚の歴史散歩 / 平塚の地形地質

・相模川事典

相模川流域の自然と文化の情報を集成

・特別展図録から

平塚市考古資料 50 選 / 相模国府とその世界
44 万 7,716 本の軌跡 / 農家の四季
自然探偵・野道を行く

・博物館ガイド

博物館ガイド / 博物館の出版物
博物館の展示案内



●天文情報展示 (3 階)

・宇宙情報

最新の宇宙からのニュースを知ることができます。

・星と宇宙

宇宙に存在するさまざまな天体の画像をご紹介します。

・火星大接近

2003 年の大接近の際に撮影された火星の写真です。

・星図から引く星と星座

全天をひとつの星の地図に仕立てた星図をたどりながら、星座や星雲・星団をさがしてみましょ。

・太陽活動を探る

太陽の観測からその活動の様子をご紹介します。

・平塚の星空

平塚で見られる四季の星座をご紹介します。

・プラネタリウムリーフレット

プラネタリウムでお配りしているリーフレット「銀河」です。

・ガイドブック

星空博物館－太陽系の天体たち－

・図録

星空の 1 2 カ月

太陽活動をさぐる－第 2 2 太陽活動期から－

平塚の星空

火星大接近



博物館カレンダー

2004年4月の行事

4	1	木	☆ 寄贈品コーナー自然新資料(～4月29日) 展示解説ボランティアの会	展示室 特研究室
4	2	金	古文書講読会	講堂
4	4	日	古代遺跡を探す会	館内
4	7	水	社寺と祭を調べる会	特研究室
4	8	木	石仏を調べる会 湘南コケの会	特研究室 講堂
4	9	金	古文書講読会	講堂
4	10	土	◎ 漂着物を拾う会 地質調査会 ☆ プラネタリウム「金星が太陽面を通る」(～6月6日)	虹ヶ浜 特研究室 プラネ室
4	11	日	民俗探訪会「神明神社祭礼」 水辺の楽校生きもの調べの会	馬入 水辺の楽校
4	15	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
4	16	金	古文書講読会	講堂
4	17	土	○ 自然の新聞を作る会 天体観察会	野外 屋上
4	18	日	相模川の生き立ちを探る会 ◎ ろばたばなし	科学教室 展示室
4	21	水	裏打ちの会	科学教室
4	22	木	石仏を調べる会 植物誌調査会	特研究室 野外
4	23	金	◎ 星を見る会 古文書講読会	屋上 講堂
4	24	土	地質調査会 星まつりを調べる会 空襲と戦災を記録する会	野外 講堂 特研究室
4	25	日	○ みんなで調べよう ○ 体験学習「家紋風を作ろう」	講堂 科学教室

<展示とプラネタリウム>

☆第5回博物館まつり

博物館で活動する11サークル団体による展示会です。

会期：4月11日まで

☆プラネタリウム「金星が太陽面を通る」

期間：4月10日(土)～6月6日(日)まで

投影日：土曜日の11時と14時

☆寄贈品コーナー

・「自然新資料」

会期：4月1日(木)～4月29日(木)

<参加者募集>

○みんな調べよう

「ツバメ調べ」

市内のツバメの巣の分布を地域を分担して調べます。

日時：4月25日(日)

場所：博物館講堂

申込：往復はがきで4月10日(土)までに申し込む。

○体験学習「家紋風を作ろう」

日時：4月25日(日)10時～16時

場所：博物館科学教室

申込：往復はがきで4月15日(木)までに申し込む。

参加費：100円

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

日時：4月10日(土)9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由(ただし、初めての方は往復はがきで申し込むこと)

2004年5月の行事

5	1	土	☆ 寄贈品コーナー人文新資料(～6/8) 民具に親しむ会	展示室 科学教室
5	2	日	古代遺跡を探す会	野外
5	5	水	民俗探訪会「国府祭」	大磯町
5	6	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
5	7	金	古文書講読会	講堂
5	8	土	地質調査会 ◎ 漂着物を拾う会	特研究室 虹ヶ浜
5	9	日	水辺の楽校生きもの調べの会	水辺の楽校
5	12	水	☆ プラネタリウム「幼児投影(～7/7)」 社寺と祭を調べる会	プラネ室 特研究室
5	13	木	湘南コケの会 石仏を調べる会	講堂・野外 田村
5	14	金	古文書講読会 ◎ 星を見る会「ほうき星」	講堂 屋上・科学室
5	15	土	○ 自然観察ゼミ「植物の観察と分類」 天体観察会「彗星」	講堂 月光天文台
5	16	日	◎ ろばたばなし 相模川の生き立ちを探る会 天体観察会「彗星」	展示室 野外 月光天文台
5	19	水	裏打ちの会	科学教室
5	20	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
5	21	金	古文書講読会	講堂
5	22	土	空襲と戦災を記録する会 星まつりを調べる会	特研究室 講堂
5	23	日	○ 自然観察ゼミ「植物の観察と分類」	講堂
5	27	木	植物誌調査会 石仏を調べる会	野外 田村
5	28	金	古文書講読会	講堂
5	29	土	天体観察会「学習会と彗星」 民具に親しむ会	特研究室 科学教室
5	30	日	地質調査会	野外

☆：展示(無料)、プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：4月18日(日)(1)13時20分～(2)15時～

場所：展示室民家

参加：自由

◎自然の新聞を作る会

動植物を観察して新聞を作ります。

日時：4月21日(土)13時～16時

場所：総合公園

参加：往復はがきで4月10日(土)までに申し込む。

◎星を見る会

「春の星座と惑星」を見よう。

日時：4月23日(金)19時～20時30分

場所：博物館屋上

参加：自由

◇博物館まつり関連行事

◎博物館まつり実演

・古代遺跡を探す会「野焼きと火起こし」

日時：4月3日(土)10時～16時(雨天時は4月10日土)

場所：博物館屋上

・展示解説ボランティアの会「博物館を10倍楽しむ展示解説」

日時：4月4日(日)13時～14時30分

場所：博物館受付前集合

あなたと博物館 29巻 12号 通算328号 発行 平塚市博物館 2500

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>